

令和 8 年 8 月 7 日

鳥取大学国際乾燥地研究教育機構が UNCCD COP17 で 2 つのサイドイベントを開催 (再生型農業・食料安全保障・土壌健康の研究を世界へ)

概要

鳥取大学国際乾燥地研究教育機構（IPDRE）は、2026 年 8 月 17 日から 28 日までモンゴル・ウランバートルで開催される国連砂漠化対処条約第 17 回締約国会議（UNCCD COP17）において、乾燥地の食料安全保障、持続可能な放牧地管理、土壌健康、再生型農業をテーマとする 2 つのサイドイベントを開催します。8 月 21 日には、農林水産省主催の関連サイドイベントにも共催機関として参画します。

開催の背景

UNCCD COP17 は「Restoring Land, Restoring Hope（土地を再生し、希望を取り戻す：仮訳）」をテーマに、砂漠化、土地劣化、干ばつへの国際的な対応を議論する会議です。鳥取大学は、エチオピアにおける持続可能な土地管理（SLM）・再生型農業、乾燥地での小麦を中心とした作物育種、モンゴルにおける気候・砂漠化・牧地保全の研究を長年進めてきました。今回のイベントでは、これらの科学的知見を技術、政策、国際協力、民間部門との連携による実装へつなぐ道筋を議論します。

サイドイベント予定

1. 8 月 18 日(火) 18:00-19:30（会場:MET-02）

イベント名:「Strengthening Food Security through Crop-Livestock Management with Sustainable Rangeland in Drylands: From Mongolia to Eurasia（持続可能な放牧地と作物・家畜管理による食料安全保障の強化:モンゴルからユーラシアへ）」

2. 8 月 20 日(木) 13:00-14:30（会場:MET-03）

イベント名:「From Soil Health to Wealth: Research and Innovation Pathways for Regenerative and Climate-Resilient Food Systems(土壌の健全性から豊かさへ:再生型で気候変動に強靱な食料システムに向けた研究・イノベーションの道筋)」

※日時はモンゴル・ウランバートル時間。プログラム・登壇者は調整中。

概要（予定）

1. Strengthening Food Security through Crop-Livestock Management with Sustainable Rangeland in Drylands: From Mongolia to Eurasia（持続可能な放牧地と作物・家畜管理による食料安全保障の強化：モンゴルからユーラシアへ）

モンゴルを対象として、これまでの風成砂漠化に関するモニタリング研究を基に、寒冷乾燥地における持続可能な放牧地管理と作物・家畜複合システムの実現に向けた研究・実装課題を整理します。小麦とカシミアを含む農畜産物の生産・貿易、気候変動と砂漠化、放牧地の脆弱性、気候適応と育種による小麦生産の安定化を取り上げます。さらに、節水技術、気候モニタリング、小麦残渣と家畜ふん尿の活用、放牧・給餌システムなど、農業と牧畜を結ぶ具体的な管理手法を議論します。

主催：鳥取大学乾燥地研究センター（ALRC）／国際乾燥地研究教育機構（IPDRE）

共催：IRIMHE（モンゴル気象・水文・環境情報研究所）、IGG（モンゴル科学アカデミー地理・地生態学研究所）、IPAS（植物・農業科学研究所）、RIAH（畜産研究所）、UMAS（モンゴル科学アカデミー大学）、Tavan Bogd Group（モンゴルの大手企業グループ）等（調整中）

2. From Soil Health to Wealth: Research and Innovation Pathways for Regenerative and Climate-Resilient Food Systems（土壌の健全性から豊かさへ：再生型で気候変動に強靱な食料システムに向けた研究・イノベーションの道筋）

エチオピアで蓄積してきた持続可能な土地管理と再生型農業の研究経験を基に、土壌健康を農業生産性、気候適応、長期的な生計向上の基盤として位置づけます。研究成果を現場で利用できる技術や制度へ転換し、広域展開するための新たなアプローチ、研究と社会実装の接続、多機関パートナーシップの役割などを検討します。適応と緩和の相乗効果を生み出す食料システムの構築に向け、研究者、政策関係者、国際協力機関等が意見交換を行う予定です。

主催：鳥取大学国際乾燥地研究教育機構（IPDRE）、国際協力機構（JICA）、

共催：Ethiopian Forestry Development（エチオピア森林開発機構）、CIFOR-ICRAF（国際林業研究センター・世界アグロフォレストリーセンター）、UNDP（国連開発計画）等（調整中）

農林水産省主催イベントへの参画

8月21日には、農林水産省主催「Regenerative Agriculture and Sustainable Land Management: Japan's Innovative Technologies and Approaches（再生型農業・持続可能な土地管理：日本の革新的な技術とアプローチ）」にIPDRE・ALRC および JICA が共催機関として参画します。鳥取大学の恒川篤史理事・副学長（IPDRE 機構長）が開催挨拶にて登壇され、その後、EF Polymer 株式会社、サグリ株式会社等による技術紹介、政府・民間・学術機関・国際機関の連携に関するパネル討論が行われる予定です。

※COP17 公式サイト：<https://www.unccd.int/cop17>

【本件に関する問い合わせ先】

鳥取大学国際乾燥地研究教育機構（IPDRE）

担当：安部 壮司

電話 0857-31-5550

Mail takeshiabe@tottori-u.ac.jp

【本件の取材申込について】

鳥取大学広報・基金室

（ブランディング推進室 広報企画係）

電話 0857-31-5006 FAX 0857-31-5018

Mail toridai-kouhou@ml.adm.tottori-u.ac.jp